

ドラッグインフォメーション

平成 28 年 4 月改訂

販売名	ホウ酸「ヨシダ」	製造販売	吉田製薬株式会社										
局方名	日本薬局方 ホウ酸	発売年月	1961 年 1 月										
洋名	Boric Acid	薬価収載年月	1961 年 1 月										
一般名	ホウ酸	薬価	10g 22.00	健保適用									
剤形	散剤	日本標準商品分類番号	871314										
規制区分	普通薬 日局	YJコード	1314701X1305										
厚生労働省薬価基準収載医薬品コード	1314701X1305	YJコード	1314701X1305										
性状	<p>本品は無色又は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、わずかに特異な味がある。 温湯、熱エタノール(95)又はグリセリンに溶けやすく、水又はエタノール(95)にやや溶けやすく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。 本品 1.0g を水 20mL に溶かした液のpHは 3.5～4.1 である。</p>												
組成	本品を乾燥したものは、ホウ酸(H ₃ BO ₃)99.5%以上を含む。												
効能・効果	結膜囊の洗浄・消毒	用法・用量	2%以下の濃度で用いる。										
薬理作用	弱い殺菌力(特に糸状菌に)があり防腐力もある。刺激性もなく、作用は緩和である。												
毒性	<p>急性毒性: LD50 (mg/kg)</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td>ハツカネズミ</td> <td>シロネズミ</td> </tr> <tr> <td>経口</td> <td>3450</td> <td>2660</td> </tr> <tr> <td>皮下</td> <td>2070</td> <td></td> </tr> </table> <p>ホウ酸を皮膚に塗布すると、健康な皮膚からはほとんど吸収されないが、皮膚に火傷部位、湿疹その他の開放性創傷がある場合には容易に吸収される。そのため中毒が起こり、ときには死亡する例もある。又ホウ酸は消化管、膀胱粘膜から容易に吸収されるが、吸収されたホウ酸は、生体内組織中、脊髄、とくに灰白質に多く、又肝、腎および体脂肪中に蓄積する。排泄は主として腎から行われる。中毒症状はまず、消化器症状から始まり悪心、嘔吐、腹痛、下痢、次いで全身症状中毒性紅斑を生ずる。重篤な場合は、嗜眠状態となり、痙攣を起こして死亡する。</p>					ハツカネズミ	シロネズミ	経口	3450	2660	皮下	2070	
	ハツカネズミ	シロネズミ											
経口	3450	2660											
皮下	2070												
使用上の注意	<p>1. 副作用 本剤は、使用調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; width: 50%;"> <tr> <td>種類\頻度</td> <td>頻度不明</td> </tr> <tr> <td>過敏症</td> <td>過敏症状</td> </tr> </table> <p>注)このような症状があらわれた場合には、使用を中止すること。</p> <p>2. 適用上の注意 1) 長期間にわたり使用しないこと。 2) 眼科用のみ使用すること。</p>				種類\頻度	頻度不明	過敏症	過敏症状					
種類\頻度	頻度不明												
過敏症	過敏症状												
取扱上の注意	貯法: 密閉容器 包装単位 結晶 : 500g	文献請求先	吉田製薬株式会社 学術部 東京都中野区中央5-1-10										